

ひみつのおうちはどこにある？

① 面白い顔はどこにある？

今月は右京区にある双ヶ岡へ出掛けました。午前中はお弁当を食べる広場までのんびりお散歩しました。お散歩中は、みんなで同じ物を探す事を目的に、『自然の中にある顔』を探しながら進みました。道の途中のマンホール、石垣、落ち葉、木の窪みなど、色々な場所に隠れた顔を見つけ、「この顔、泣いているみたい。」と表情まで楽しんでいました。



② ドングリたくさん！

他にも様々な大きさや形のドングリを見つけ、新しいドングリを見つける度にグループの友達と見せ合っておられました。「帽子がついている！」、「双子だよ！」、「緑色は珍しいね！」と会話が弾み、あっという間にグループのドングリケースが満タンになりました。その後、ドングリ拾いに夢中になっていると、目的地の広場が見えてきました。



③ 森の中へ出発だ！

お弁当を食べた後は、みんなで森の中を探検しました。午前中に拾ったドングリが隠れられるような小さなお家や、生き物のお家が見つかるかな？分かれ道や上り坂を進み、目の前に現れた木の階段を上りきると、一気に視界が開け、京都の街並みが見えました。「わあ！」という歓声が続いて、「やっほー！」と大きな声で叫んでおられました。



④ 下り坂は気を付けて！

おやつ時間に間に合うように森を出発しました。帰り道は下り坂が多く、一步一步慎重に進みました。「こわい！」と尻込みするメンバーもいましたが、前を歩く友達の真似をしながら上手に下りる事が出来ました。看板の地図を見て「みんなでこの道を進んだね！」と話す表情は、とても嬉しそうでした。また探検しようね！まったねえ～！！

今月の活動は双ヶ岡の森の中を満喫しました。午前中の自然探しは、「ここからスタートだよ！」という合図を聞いた瞬間、みんなのスイッチが入り、目の前の自然に夢中でした。驚く程のスピードで次々とお気に入りの自然を見つけるメンバーや、その場にしゃがんで一つの物をじっくり楽しむメンバーがおられ、一緒にペースで進む事は難しかったですが、見つけた物を見せ合う事で発見を共有出来ていたように思います。自然の中には危険な箇所もあり、どうしても制限する声掛けが増えてしまいますが、メンバーの発見や発想を出来る限り拡げていけるような言葉選びや環境をリーダー全体で意識していきたいです。
(生本 ひろみ)